

# 『400年に一度のチャンス』

平成22年12月11日

財団法人島根総合研究所

理事長・公認会計士 山根治

## 1. はじめに

## 2. 謬見の流布

1. 日本経済、国家財政は破綻に向っている。
2. 日本の進む道は貿易立国、金融立国だ。
3. グローバル・スタンダードに乗り遅れるな。
4. 地方はますますダメになる。
5. カルロス・ゴーンはニッサンの救世主だ。
6. リーマンショック前のトヨタは、2年連続して2兆円の利益をあげ、業績はピークに達した。
7. その他、円高危機、GDP神話（豊かさとは何か、クオリティ・オブ・ライフ）、少子化対策、コンビニの時代、ユニクロの一人勝ち。
  - － 以上の所説は全て誤っている。

## 3. 会計工学的発想の必要性

- － 認知会計 Cognitive Accounting

## 4. 400年に一度のチャンス

－ ネット社会の到来と歴史の再認識

1. 為政者支配からの脱却
  - ・ 政治家、役人 － 国民に対する奉仕者としての位置づけ
  - ・ 会計工学によるチェック・システムの確立 → 無謬性神話の打破
  - ・ 財政再建 － 寄生虫の除去
2. 日本国の全体像の立体的把握
  - ・ 大福帳会計の復活 (c.f. 開城簿記)
  - ・ 不十分な事業仕分け
3. 経済合理性の追求からの脱却
  - ・ 近江商人の“三方よし”
  - ・ 「安い品をより多く」からの脱却 (大量消費の誤り、GDP神話の崩壊)
4. 地域資源の棚卸しと活用化
  - ・ 人、環境、安全性、山林及び海洋資源

## 5. 島根における取り組みとその方向性

1. 有益な情報の発信 → Ruby
2. 人材の活用
  - ・ 意識の高い地域住民、島大とOB (淡水化、中海干拓を阻止した住民)
3. 自然環境と歴史的環境の活用
4. 里山の復活、教育、医療、福祉 → 全国モデルの構築
5. 6次産業の確立
6. 1. ～5. によって、①観光事業の活性化、②システムの移・輸出、③大企業を下請けに。
7. サロン (井戸端会議) の設置